

団体活動報告書

記載日：令和 5年 5月 16 日

団体登録番号

第520号

ふりがな	エスベイオーカウミニヤムコクヨウルイゾニヨウカツノカイ(イリヤテ)		
団体名	NPO法人全国ギャンブル依存症家族の会(当社)		
ふりがな	タカラヒトヨウカス	ふりがな	タカラヒトヨウカス
代表者名	高橋 正和	記載者名	高橋 正和
	活動期間：24年7月17日～25年12月31日 資料2参照		
前年度の活動内容			
主な活動日	毎日、祝日 13:30～17:00		
主な活動場所	いわき市民情報交流センター「アイナ」6F		
貸ロッカー	利用：有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 番号：	貸レターケース	利用：有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 番号：
ボランティア情報	※ボランティアの募集等がございましたら記載ください。（活動内容・場所・日時等）		
他の団体や県民の皆さんへのメッセージ（ご自由にお書きください）	ギャンブル依存症はWHO(世界保健機関)が認定した「病気」です。日本にアリスは本人の甘え上、----- 資料1 ギャンブル依存症家族、学習の回復につづけよう。		

【留意事項】

※登録団体は、毎年4～6月末日までに前年度の「団体活動報告書」（この様式：県活様式1-9）を提出してください。NPO活動交流センターで閲覧します。

※2年連続して「団体活動報告書」の提出がない団体は、団体登録を抹消します。

※団体登録内容に変更がある場合は、「団体利用登録（変更）申請書（県活様式1-1）」を提出してください。



2022.5改

センター使用欄					
受付者	/	入力者	台: /	DB: /	検索者

資料 1

ギャンブル依存症は WHO (世界保健機関) でも認定された「病気」です。日本においては「本人の甘え」「意志が弱い、ダメな人」と誤解されています。

当時者がいわゆる「底つき」(借金、失踪、横領、逮捕) になり自殺者が全国で多数おられます、
家族には家族の解決策があります。悩みを抱えず共に対応策の仕方を 1 回／月家族会を開催して学んでいます。

年／1 回 セミナー、講演会等を開催するにあたり講師を招待するため費用が必要になります。

※ 4 月 17 日家族会にせいわ病院から 3 名 (医師 1 名) 来場され勉強していきました。

資料 2

私たちはギャンブル依存症の家族の集まりです。

ギャンブル依存症は「病気賭博」と言われる、れっきとした「病気」です。

現在日本国内においてギャンブル依存症累計は320万人と言われています。

そして ギャンブル依存症の周囲には問題に巻き込まれ苦しんでいる家族がいます。ギャンブルによって借金やその他の問題を繰り返すギャンブラーに対しても何とか出来る方法はないだろうかと悩み自分を責め苦しんできたのが私たち家族です。そして同じ苦しみの中にいる家族たちが当時者との適切な関わりを学び、結果として当時者にとっても家族にとっても有効な手立てが取れるのではないかと考える様になりました。

私たちはギャンブル依存症の家族が抱える問題を広く知って貰う事を目的として啓発活動・情報提供の活動しています。

今後.治療施設やセルフケアサービス.行政機関との連携により依存症者の就労機会の確保を図る活動やギャンブル依存症問題の啓発と予防教育の推進を図る活動を行っていきます。

私たちは、ギャンブル依存症に対して正しい知識を国民の皆様に知ってもらいたいと思い活動しています。